

ROTARY INTERNATIONAL

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



OFFICE OF GOVERNOR OF DISTRICT NO. 360

TARO KAMINO

c/o CHUBU GAS CO., LTD.

100 SHIRAKAWA-CHO, TOYOHASHI, AICHI, JAPAN



No. 4 (September 15, 1965)

昭和40年9月15日

第360区各ロータリークラブ

会長並びに幹事殿

国際ロータリー第360区ガバナー

神野太郎



(ペッテンギル氏夫妻)

ペッテンギルR.I.会長代理夫妻を迎えて

Welcome to Mr. and Mrs. Pettengil,
Representative of President

R.I. 直前会長ペッテンギル氏がティーンストラ R.I. 会長の代理として夫人同伴、来る10月開催される東日本及び西日本連合地区大会に出席されます。ペッテンギル氏は、昨年「ロータリーに生きよう」(Live Rotary) というターゲットを世界のロータリアンに呼びかけられたことは、記憶に新たなことであります。ペッテンギル氏は、ロータリーの創始者ポール・ハリスの精神にもどって私たちの生活全体を通じてロータリーに生き、奉仕の理想が私たちの生活の大きな力を占めるように、と呼びかけられたのであります。

愛称はチャーリー。ポール・ハリスと同じ職業の弁護士で、アメリカでも最も権威ある弁護士の一人であります。またチャーリーは、非常に家庭的な人で、マドライン夫人のロータリーやその他のグルー

プで示される良きホステスぶりには定評があり、私もレクブラシッドの集いのときの夫人のユーモラスな明るい社交ぶりが、深く印象に残っております。

ペッテンギルR.I.会長代理ご夫妻は、東日本連合地区大会に出席されてから、愛知、三重を観光旅行されて、関西へ向かわれます。当地区内のご日程に關係のあるクラブには、色々ど厄介になるかと思いますが、ご夫妻の旅行が楽しく印象深いものとなるよう、ご協力をお願いいたします。

ペッテンギル会長代理ご夫妻の第360区に於けるスケジュールは次の通りであります。(この旅行には東ヶ崎前R.I.副会長ご夫妻が同行されます。)

10月16日(土) 東京発 名古屋着
17日(日) 松阪→伊勢→志摩
18日(月) 鳥羽→宇治山田→大阪

R.I.会長の第2のメッセージ

R.I. President's Second Message

ティーンストラR.I.会長から、各ロータリークラブ会長宛に第2のメッセージが送られておると思います。同会長はこのメッセージのなかで、第1のメッセージで強調された各クラブの批判的分析について、さらに具体的に9つの質疑事項を示しておられます。

各クラブ会長は、ティーンストラ会長の第1のメッセージとともに、第2のメッセージをよくお読みになって、とくにクラブ強化のために、行動のプログラムについて再検討して下さいをお願いします。

1966～7年第360区ガバナー・ノミニー決定 **District Governor Nominee Decided**

1966～7年R.I.第360区ガバナー・ノミニーについては、当地区指名委員会によって詮衡された候補者を8月15日号のガバナース・レターで発表しました。その後、期日（8月末日）までに他の候補者の推せんがありませんでしたので、指名委員会決定通り、金沢クラブの岡田良介君となりましたからご承知下さい。

1966年度地区協議会開催地決定 **Place for 1966 District Assembly Decided**

1966年の第360地区協議会は、愛知県犬山市で開催されることに決定しました。ホストクラブは犬山R.C.、開催日は6月下旬を予定しております。

1966年度地区大会開催地決定 **Place for 1966 District Conference Decided**

1966年の第360地区地区大会は、岐阜市に於て開催されることに決定しました。ホストクラブは、岐阜南R.C.で、岐阜市内の各R.C.並びに岐阜県内のR.C.が協力されることになっております。開催日は、10月8、9、10日が一応予定されております。

公式訪問雑感(2) **Remarks on My Official Visits (2)**

7月下旬から8月上旬までに14クラブ、8月中旬から9月初旬にかけて17クラブを歴訪、8月11日までに31クラブの公式訪問を終えました。相当の強行軍で、私のスケジュールのたて方に少々無理のあったことがわかりました。したがって、事務処理が時々停滞し、各クラブ、その他の方々へのご返信やご連絡が遅れ、ご迷惑をかけたこともあったかと思ひます。あしからずご諒承下さい。

さて、まだまだガバナーの仕事が板について参りませんが、今年はティーンストラR.I.会長のメッセージを尊重し、できるだけクラブ奉仕活動の分析に重点を置いてアッセンブリーを行なってきました。したがって、委員会計画の報告書は前もって十分拝見しておき、アッセンブリーでは直ちに各部門の現状をディスカスする方針をとっておりますが、いずれのクラブもこれをよくご理解下さって、サマリーと報告書を予じめお届け頂き有難うございました。

会長、幹事との懇談会も十分時間をおつくり下さいましたし、アッセンブリーもたいへん熱心にご発言を頂いて、時には時間のたつのを忘れることもありました。不慣れなガバナーをお助け下さいました各クラブの皆さんに、厚くお礼申し上げます。

名古屋周辺と東濃地区

8月下旬、名古屋6クラブを連続訪問し、9月初旬には名古屋周辺の3クラブを訪問しました。さすがに40年の歴史と伝統をもつ名古屋クラブは、クラブ自体に一つの風格と品位があり、記録その他の手続も完備しておることに感心しました。

他の名古屋5クラブは、何れも澁滞として、同じ都市内でありながら夫々際立った特色をもっており、私自身もたいへん勉強になりました。

とくに興味をひかれたことは、各クラブが自クラブの内部分析について新らしい各種の統計を発表しておられることです。また、いずれのクラブも“楽しいクラブ”、“魅力のある例会”づくりに力を入れておられることには、大いに共鳴いたしました。日本のクラブが、どうも堅苦しく、毎週の例会がセレモニーになりがちな傾向から脱皮しよう、というご努力に心から敬意を表します。

東濃地区の5クラブは、十分時間をかけて会員皆さんとお話することができて幸せでした。どのクラブもクラブ内部の分析に熱心で、ロータリーに熱意をもたれるロータリアンが多数おられることを発見し、心強い限りでした。将来は、この沿線にも個性味豊かな活動的なクラブが揃って成長されることと、楽しみにしております。

年代別のバランスについて

公式訪問の際、各クラブの会員全体の年代別パーセンテージを伺うことにしております。二、三のクラブは理想的なバランスで構成されていましたが、多くのクラブは、いわゆる会員の底辺ともいふべき30代、40代の層が非常に薄く、シニア会員資格者の職業分類のオープン、アディショナル会員の活用が十分でないと思受けました。

ティーンストラ会長の念願である“未来のための組織づくり”を目指すため、真剣にご検討頂きたいと思ひます。



(伊勢市に於けるインターアクト連絡協議会本会議場)

第360区インターアクト連絡協議会

District 360 INTERACT District Assembly

第2回第360区インターアクト連絡協議会は、さる8月12、13の両日、伊勢ロータリークラブ、伊勢インターアクトクラブが、ホストクラブになって、伊勢市神宮会館で開催されました。第360区内各校のインターアクト代表、インターアクト担当教師、ロータリークラブインターアクト諮問委員、その他各地のロータリークラブの青少年委員会委員なども参加し登録人員136名、出席人員145名で盛会でした。

この会合には地区外の京都西京商業高等学校インターアクトクラブの皆さんと、北米合衆国ウィルミントン、ハイスクールのインターアクト会員 دونالد・クーリッジ君も参加して異彩を加え、内容の充実した協議会になりました。

12日は前夜懇談会、13日は早朝伊勢内宮に参拝、8時半から本会議、9時10分から生徒部会、指導担当教師部会、諮問委員長部会の3部会に分れ、熱心に活発な意見交換が行なわれました。

とくに生徒部会では純真率直な生徒諸君の意見が白熱化して心打たれるものがありました。当日は午後再び本会議を開き、協議事項報告、講評等があった2日間にわたる会を閉じました。

また、次期開催地は金沢市と決定しました。

交換学生 小谷嬢帰る

Exchange Student Miss Kotani Back Home



ノースカロライナ・サンホードヘラルド新聞に掲載された写真
左より 第769区バストガバナーランベス氏、ローズマリーバツド嬢（昨年度交換学生として来名）、望月 鏡子さん（バツド嬢がお世話になった名古屋 R.C. 会員、渡辺彌氏令嬢）、小谷嬢、第769区ガバナーレオヒヤ氏

8月15日号でお知らせした刈谷 R.C. 小谷徳郎君の令嬢雅子さん（名古屋南山大学 三年在学）は、立派に親善交換学生の任務を果たされ、去る9月1日羽田着で帰国されました。

雅子さんにお願いして、その訪問日記の一部をここにのせることにしました。

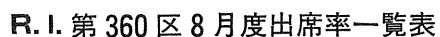
訪 米 略 記 小 谷 雅 子

8月1日 午後10時、日航機にて羽田を立つ。囲りは全部外国語、既に外国の感あり。これから目的地に着く迄は全くの1人、色々の注意を思い出してみる。少々不安。

8月2日 午後3時、合計30時間におよぶ一人旅もやっと終り、無事グリンズボローに着く。予期していなかった出迎えが多勢私を取り囲む。キョトンとしている私に新聞のフラッシュが光り、テレビのニュース記者と称する人達によるインタビューがある。ミス・ローズマリー、ガバナー、ピアス氏夫妻…それにこの騒ぎ、どうやら大変な事を引き受けてきてしまった様だと改めて痛感。騒音の中で手続きを済ませ、一路サイラーシティに向う。道の両面に展開する風景は広々として緑がとても美しい。1時間余のドライブの後、ようやくピアス家に辿り着く。荷物の整理もそこそこに、早速おみやげを渡し、旅行計画を検討してもらおう。これに基づきピアスさんが私の日程をたててくれるはずである。前途に待ちかまえるものは、と、いささか恐れも感じる。夜遅くまで家族の人達と話をする。それ迄満足に眠れなかった私はとても眠い。彼等はどうか背伸び張りであるらしい。明日は寝たいだけ寝ている様にとの事。

8月24日 長かった様で短かった3週間の滞在期間も終り、いよいよ帰途に就く。思い起すと非常に多忙な3週間であった。廻ったクラブは8つ（9日サイラーシティ及びランドルマン、10日サンフォード、12日トロイ、13日サウザンパインズ、14日ハイポイント、16日リーズヴィル、23日グリンズボロー）だけだったが、その間海岸に行ったり山へ行ったり、大学の構内を歩いたり古い建築を見たり、又子供と遊んだり大人と話したり、工場をいくつも見学したり教会に行ったり……という具合の毎日だったのである。ピアスさんが練ってくれたこのスケジュールのおかげで、私は3週間という短期間に、ほぼ本州ほどの大きさのある北カロライナ州を大掴みに出来た様だ。沢山あった私への例会出席の申し込みの中から8つだけを選び、後は楽しみながら彼等の州を見学出来る様取り計ってくれたピアスさん等の温かい心遣いに深く感謝するのみである。アメリカの第一印象を尋ねられたら、私はためらわずに、非常に親切な国と答えるだろう。

9月1日 やっと日本に帰ってきた。日本語の渦、やはり日本が一番良い。1週間近くかけてワシントン、ニューヨーク、バッファロー、ロスアンゼルス、サンフランシスコ、ホノルルとかけ足旅行をしてきたが、その間も日本語で喋る事ばかり夢みていた私は、どうみても留学生には向かない。1ヶ月位の見えて歩きが一番効果がある様である。この貴重な経験を今後どう生かすか、それが私に与えられた最も大きな任務である様な気がする。



順位	クラブ名	会員数	例数	%	前月 順位	前月 会員数	増減	順位	クラブ名	会員数	例数	%	前月 順位	前月 会員数	増減
1	碧 南	55	4	100.00	17	54	+ 1	45	恵 那	39	4	94.88	41	38	+ 1
1	江 南	27	4	100.00	1	27	0	46	半 田	59	4	94.83	33	59	0
1	桑 名	48	5	100.00	1	47	+ 1	47	田 原	34	4	94.79	49	33	+ 1
1	松 本 南	45	5	100.00	9	45	0	平 均 94.46							
1	名古屋東	47	5	100.00	8	47	0								
1	岡 崎 南	35	4	100.00	31	35	0	43	美 濃	31	4	93.55	46	31	0
1	高 岡	60	4	100.00	1	57	+ 3	49	上 野	56	5	93.41	65	56	0
1	豊 橋 北	54	5	100.00	22	55	- 1	50	金 沢 東	91	5	93.32	45	89	+ 2
9	岐 阜 西	59	5	99.66	1	59	0	51	伊 那	41	4	93.28	63	41	0
10	多 治 見	65	4	99.62	12	64	+ 1	52	諏 訪	44	4	93.17	55	44	0
11	駒 ケ 根	53	5	99.61	1	51	+ 2	53	小 松	43	4	93.02	50	43	0
12	豊 田	46	4	99.46	1	45	+ 1	54	鳥 羽	31	4	92.74	62	30	+ 1
13	名 張	45	5	99.11	10	44	+ 1	55	四日市北	36	5	92.70	54	35	+ 1
14	安 城	44	4	98.85	30	43	+ 1	56	名 古 屋	179	5	92.55	51	179	0
15	岐 阜 南	64	4	98.83	14	64	0	57	高 山	39	4	92.42	26	41	- 2
16	飯 田	63	4	98.81	15	63	0	58	大 垣	56	4	92.28	56	56	0
17	犬 山	44	5	98.63	21	44	0	59	中 津 川	45	4	92.22	57	45	0
18	土 岐	58	5	98.62	1	58	0	60	大 町	35	4	92.12	72	34	+ 1
19	刈 谷	51	5	98.43	19	50	+ 1	61	瀬 戸	41	4	92.07	66	41	0
20	蒲 郡	50	4	98.00	36	51	- 1	62	豊 川	41	4	91.83	59	42	- 1
21	七 尾	40	4	97.95	67	40	0	63	長 野	38	5	91.66	70	39	- 1
22	名古屋南	70	4	97.87	35	71	- 1	63	津	60	4	91.66	61	60	0
23	一 宮 北	44	4	97.73	29	44	0	65	鈴 鹿	40	4	91.25	33	40	0
24	一 宮	64	4	97.62	28	64	0	66	金 沢 西	42	4	91.07	52	42	0
25	岡 崎	50	4	97.50	19	50	0	67	富 山	77	5	90.96	64	75	+ 2
26	松 阪	66	4	97.46	23	67	- 1	68	金 沢	86	4	89.59	63	86	0
27	西 尾	39	5	97.40	34	40	- 1	69	下 呂	34	4	89.55	43	34	0
28	砺 波	46	5	97.29	11	46	0	70	富 山 南	28	4	89.28	58	28	0
29	津 島	47	4	97.28	24	47	0	71	魚 津	46	4	89.13	71	46	0
30	各 務 原	45	4	97.22	13	45	0	72	辰 野	35	4	87.14	73	35	0
31	尾 西	58	5	96.89	16	58	0	73	輪 島	35	5	83.42	76	35	0
32	上 田	47	4	96.81	25	47	0	74	山 中	31	5	81.29	74	31	0
33	名古屋西	93	4	96.75	18	92	+ 1	75	軽 井	28	5	80.71	75	28	0
34	豊 橋	64	4	96.33	42	64	0	76	丸 子	32	4	80.46	66	32	0
35	四 日 市	88	4	96.28	39	89	- 1	77	一 色	33	4	80.31	78	33	0
36	瑞 浪	44	4	96.02	32	45	- 1	78	小 諸	30	4	79.69	77	30	0
37	松 本	62	4	95.97	46	62	0								
38	大 垣 西	40	5	95.50	44	40	0	合 計 3.946 7367.05 3,938 + 8							
39	伊 勢	56	5	95.48	48	59	- 3	7 月度出席率訂正							
40	名古屋北	60	4	95.45	53	61	- 1	上 野 91.94							
41	名古屋守山	39	4	95.39	27	38	0								
42	岐 阜	77	4	95.31	40	76	+ 1								
43	稲 沢	31	4	95.16	37	31	0								
44	岡 谷	48	5	95.00	50	48	0								

第360区を育てたパストガバナーの紹介(2)

Past Governors Who Brought up Dist. 360

1951～52年 R.I. 第60区ガバナー星野行則さん

Mr. Yukinori Hoshino, R.I. Dist. 60 Governor
1951～52.

戦後2代目のガバナー星野行則さんは、お人柄といい、公式訪問ぶりといい、歴代ガバナーのなかでも異色があり、温容のなかに襟を正す厳しさがありません。恐らく、古いロータリアンには、今日までも強い印象が残っておられることと思います。

私どものクラブへ公式訪問されたとき、クラブ全員出席のアッセンブリーが5時間も続き、会員一人一人が自己紹介とロータリーに対する所感を述べさせられ、じっくりとロータリー精神を植えつけられたものです。星野さんの古武士を思わせる面影が、今でも私の目に浮んで参ります。

(以下は「大阪ロータリークラブ10年史」から編集者・露口二郎さんのご諒解を得て転載させて頂きました。

また星野さんのご経歴も、本欄のためにとくに露口さんが、お調べ下さってお寄せ頂いたものです。露口さんのご厚意に対し厚くお礼申し上げます。)

“大阪ロータリークラブの産みの親である星野氏がガバナーに選ばれた当時は既に全国に60以上のクラブがあり、北は北海道、南は九州までの広範囲の地域を公式訪問に行脚されることは果して出来ることかどうか、何分星野氏は当時82才の高令であり、万一のことがあってはと寧ろ側の者が心配したのであったが、御当人はそれどころか、単身勇躍してレークブラッドに於ける国際協議会並びにアトランティックシティに於ける国際大会にも出席、ガバナーとしての教育を受けて帰って来られた。飛行機から降り立たれた星野氏を見ると、出掛けられた時よりも血色麗かに、足取りもしっかりと、これが82の老翁かと疑われる程であった。先ずその精神力に驚かされたのである。各地の公式訪問も全く単身で鞆一つを携えて出掛けられた。あの面倒なR.I.へのクラブ訪問の報告はその晩就寝前に片付けてしまわれるという。毎月のガバナー月報、本部との連絡、その他、仮令大阪クラブとして多少のお手伝いはしたにしても、全く驚くべき精力であった。星野ガバナーがその任期を終えられた時には、第60区に於けるクラブ数は75までに増加して居り、その翌年度から

区が2分割され、地域も、クラブ数も各約半減したから、星野氏は歴代のガバナー中最も数多くのクラブを、最も広範囲に亘って訪問行脚された訳で、その御苦労は今以後につくづくお察ししている次第である。”

星野行則氏略歴

明治3年8月28日長崎県島原に生る。若年長崎市



に出てついで大阪市三一神学校に学び明治24年卒業。

その頃同藩星野須磨子と結婚、後渡米苦学す。明治30年広岡浅子刀自に認められ、合資会社加島銀行専務理事となり、その後加島信託専務取締役、広島合名理事長、大同生命取締役などを

歴任、昭和6年財界より全く引退す。

その他、大正11年11月大阪ロータリークラブを創立、昭和26年7月国際ロータリー第70区ガバナー、またカナモジ会会長、大阪YMCA理事長、国語審議会議員並に金融制度調査会調査委員、財団法人一心社理事長、団琢磨氏団長の欧米金融視察団々員、国際商業会議所大会日本代表(昭和6年ワシントン)を歴任、晩年5カ年は深くキリスト教に帰依し、昭和35年5月1日逝去、享年90才。

各クラブ会長、幹事、委員長へお願い

Request to Club Presidents, Secretaries and Committee Chairmen

ロータリアン個人の奉仕活動をお知らせ下さい

ロータリー活動の基本ともいうべき、もっとも大切な活動は、ロータリアン一人一人の個人生活、社会生活、職業生活における日常の奉仕活動にあることはご存知の通りであります。

ついては、各クラブの各部門において、とくに社会奉仕、職業奉仕、国際奉仕において、ロータリアン個人の立派な活動を知りたいと存じますので、その活動内容と経過をガバナーまでご通知頂きたいと思ひます。

ご通知の形式や方法はご随意ですから、おわかりになった都度、必ずお知らせ頂くようとお願い致します。今後ロータリー活動の大切な指針に致したいと思ひますから、よろしくご協力下さい。

会長さんへのお願い

Request to Club Presidents

1. 公式訪問前に会長必携の「クラブ会長への指針」をご一読しておいて下さい。とくに、24～25頁のクラブ検討様式をご覧になって、クラブ計画と対照してチェックを試みられることをおすすめします。
2. 公式訪問までに、各クラブの職業分類表は整備しておいて下さい。
3. クラブ運営の基本は、クラブ定款とクラブ細則によるものですから、役員、委員長は勿論、会員皆さんも重要なところはよく理解して頂くようご配慮下さい。
4. 毎月R.I.ニュースが、会長、幹事宛に送られてきますが、これには重要な記事や附録がありますから、精読された上大切に保存して下さい。
5. 各種のロータリー文献は、一通り揃えておかれることがご便宜と思います。
6. 1966年国際大会（於アメリカ・コロラド州デンバー市）の委任状が、R.I.から送られてきましたら、これは国際大会における日本の発言権を左右する重要な委任状ですから、大切に保管しておいて下さい。この取扱いについては追ってお知らせ致します。

地区ロータリー財団委員会の設置

District Rotary Foundation Committee

国際ロータリー一理事会の決定により、今回新たに地区ロータリー財団委員会を設置し、更にこの委員会のもとに4つの小委員会を設けて、ロータリー財団活動の拡大強化をはかることになり、次の方々に各委員をご委嘱申し上げました。（改訂版ロータリー財団の話 参照）

360地区ロータリー財団委員会（敬称略）

委員長 伊藤次郎左衛門（バストガバナー）

ロータリー財団奨学金小委員会

委員 鮎谷賢太郎（名古屋R.C.） 佐藤 知雄（名古屋東R.C.）

若林元四郎（富山R.C.）

専門的技術訓練補助金小委員会

委員 天野 春一（名古屋南R.C.） 山田 巖男（名古屋東R.C.）

山本重治郎（桑名R.C.）

研究グループ交換小委員会

委員 西野新兵衛（名古屋R.C.） 杉山 新七（岐阜R.C.）

小川 宗一（大垣R.C.）

ロータリー財団振興小委員会

委員 白石 豊彦（名古屋R.C.） 松川藤右衛門（金沢東R.C.）

西沢 重明（松本R.C.）

西日本連合地区大会各委員のご委嘱（敬称略）

資格審査委員 今中 義順（津R.C.）

選挙委員 溝畑 純一（岐阜南R.C.）

高安 康祐（飯田R.C.）

宮木利左衛門（名古屋東R.C.）

決議委員 盛田 秀平（バストガバナー）

インターアクト週間

INTERACT Week

10月3日より9日までがインターアクト週間です。この週間の例会にはインターアクトを特に強調する行事を計画して下さい。R.I.ニュース8月号に同封されている「インターアクトの実体」を資料として下さい。インターアクトについては各県に1名ずつインターアクト委員が委嘱されていますので協力できることと思います。

告 知 板

Message Board

行 事 予 定

11月21日（月） 江南R.C. チャーター伝達式

公 式 訪 問 予 定

9月25日（土）	高山R.C.	10月27日（水）	上田R.C.
28日（火）	犬山R.C.	28日（木）	丸子R.C.
29日（水）	瀬戸R.C.	29日（金）	小諸R.C.
10月4日（月）	金沢東R.C.	30日（土）	軽井沢R.C.
5日（火）	山中R.C.	11月4日（木）	高岡R.C.
6日（水）	金沢R.C.	5日（金）	魚津R.C.
7日（木）	小松R.C.	10日（水）	各務原R.C.
8日（金）	金沢西R.C.	11日（木）	岐阜南R.C.
19日（火）	長野R.C.	12日（金）	岐阜R.C.
20日（水）	松本南R.C.	13日（土）	美濃R.C.

訂 正

先月号4頁「第360区分区代理の紹介」の英字タイトルが違っていましたので次の通り訂正致します。

Introducing D-360 Group Representatives

敬 弔

Condolence

昭和40年8月21日 高山 松吉君（豊橋R.C.）

8月26日 加藤 二郎君（金沢R.C.）

が逝去されました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

Rotary International

国際ロータリー第360区

ガバナー事務所

豊橋市白河町100 中部瓦斯株式会社内

神 野 太 郎

電話 豊橋 <2> 4113 <2> 5382

電略 カ ミ ノ ト ヨ ハ シ

取引銀行 東海銀行 豊橋支店